

**事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表**  
(児童発達支援事業所 サニーキッズ)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者数に対してスペースは十分に確保できています。また、必要に応じて個室も使用している状況です。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			10名の利用者に対して3名の常時3名の職員を配置できるようにしています。また、児童発達支援の職員も必要に応じて協力できるように体制作りを行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物の2階部分で実施している事業のため階段の上り下りなど必要な部分があるため、スロープなど改善が必要な部分があります。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		職員会議などで全体の目標設定などを行ってはいますが、まだまだ不十分な部分が多いと感じています。個別での面談なども行っていますが、随時業務に関しての話し合いの場を設けられるよう環境作りを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		現在アンケート内容について検討し、配布する予定です。その他にも連絡帳や日頃の送迎時のやり取りの中で、改善が必要なものに関しては全職員に周知し、その都度改善できるように取り組んでいます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回が初めての集計、公開になります。今後も定期的に評価、公開ができるようにしていきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現段階で第三者評価の受審はありませんが、今後評価を受け、業務改善に繋げていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に一度事業所内での研修を実施しています。また、法人内の研修への参加、外部での研修、公開療育への参加を通して職員の資質向上に努めています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に一度保護者や本人との面談を行い、課題について検討しながら計画内容を作成しています。また、計画内容の検討会議を全職員で行い、情報の共有や計画内容の策定を行っています。サービス等利用計画書と計画内容を照らし合わせることも行っています。
	⑩	子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		法人統一のアセスメント表を使用しているが、児童の利用者に対応した内容のものに変更できないか検討しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月ごとの内容を担当者を中心に話し合いをしながら作成しています。行事等に関してはある程度年間で決めてありますが、子どもさんの実態に合わせて内容を変更するなどしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節ごとの行事や体験活動などを取り入れながら、子どもさんの前月の様子などを踏まえて、活動内容が固定駆ることがないように検討を行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間に応じて活動の内容、取り組み時間にも変化をつけています。また、どのような活動に組みたいかなど要望も聞きながら、対応できる範囲ではありますが活動を行っています。必要に応じて宿題など個別で取り組み時間も設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の皆様からの要望の中に友だちとの交流や集団での活動への参加が多く挙げられてはいますが、必要に応じて個別での活動なども取り入れ、子どもさん個々の力を伸ばせるよう支援を行っています。

適切な支援の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		事前の打ち合わせを行い、活動内容、子どもさんの人数や送迎所など毎日確認を行っています。また、必要事項に関しては回覧等を行い、周知を図っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	改めて振り返りの時間を設定して行ってはいませんが、記録の時間などに子どもさん一人一人の状況を振り返りながら作成を行っています。また、作成した記録は全職員が確認するようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		利用された子どもさん一人ひとりのケース記録を毎日作成しています。子どもさんの様子で気になった部分などは職員で共有し、支援内容を検討するためのツールとして活用しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に1度の見直しを行っています。保護者との面談を通じて家庭での様子や他事業所での様子なども踏まえて内容の検討を実施しています。また、検討会議を実施し、本人に合った内容かを全職員で話し合いながら計画作成を行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて行っているか	○		月ごとの活動内容を作成し、活動に偏りないようにしています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者や担当職員が参画するようになっています。担当者やその他の職員から支援内容などを確認し、必要な情報を把握したうえで参画するようにしています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	年間行事等については学校から書類を頂き確認を行っています。しかし、地域の小学校に関してはまだ連携がうまく取れず、保護者からの情報がメインになっている状況なので、今後は地域の学校との連携が課題となっています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現段階で常時医療的ケアの必要な子どもさんの利用はありませんが、アセスメント時にかかりつけ医などの確認や服薬時の対応などは把握できるようにしています。また、服薬がある際には服薬依頼書を保護者に記入していただき、ミスがないようにしています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	当法人内の事業所を利用されていた子どもさんに関しては事前に情報を共有し、支援を行っています。他児童所からの子どもさんに関する情報収集が弱いのが現時点での課題になるので、相談支援事業所と連携を図りながら情報を共有できるよう努めていきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在学校を卒業する子どもさんがいないため、情報提供は行っていない状況です。今後卒業生が出てくる際には事前準備を行い、スムーズに情報提供ができるようしていきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		法人内のセンターと連携し、研修会等へも参加させていただき支援内容の充実を図っています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在、交流の機会を設けることができていない状態ですが、今後地域の学校などと連携を図り交流の機会を設定できるよう努めていきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会などへ積極的に参加しているか		○	開所一年目ということもあり、協議会への職員の参加はできていないのが現状です。今後は積極的に参加できるよう体制づくりを行っていきけるよう努めていきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳を通しての伝達がメインではありますが、送迎時などにも顔を合わせて子どもさんの状況をお話しさせていただいています。また、6か月ごとの面談でしっかりと課題や成長した部分を共有しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	面談の際に施設で行っていることを伝えたり、ご家族からの要望があれば随時面談を行ったりしています。また、ご家族へ向けての専門職からの研修や面談も要望に応じて実施していく予定です。
	保護者への説明責任	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
㉛		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳を通してやお電話など随時ご相談があった際には、職員で協議する内容を除いてはすぐに対応させていただいています。

保護者への説明責任	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在、保護者会は実施できていない状態です。今後は親子参加の活動やご家族向けの研修などを実施し、保護者同士の関わりの場を設けていけるように努めていきます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		法人と各事業所に苦情相談窓口を設け、契約時に説明と施設内に掲示を行っております。職員へは苦情解決のマニュアルを周知し、苦情への対応を行っています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月「おひさま」を発行しています。「おひさま」の中で、月の活動や体験活動について記載し、周知を図っています。また、活動の写真も掲載し、保護者の皆様に活動の様子を少しでも見ていただけるようにしています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報保護に関するマニュアルを作成し、職員全体で周知するように努めています。また、HPや広報誌に写真を掲載している子どもさんに関しては、事前に保護者の皆様に許可をいただき掲載しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードにて一日の流れを確認し、情報を伝えられるようにしています。また、月行事に関しても活動を絵で理解できるようにしています。保護者の皆様とは連絡帳やバス送迎時にお話することで、情報を伝えています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在、地域の方を招待しての行事等は行えていません。今後季節行事や研修会などに地域の方を招いて、事業に対する理解を深めてもらえるようにしていけるよう努めていきます。
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	
③⑨		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一度様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。職員は自分の担当を理解したうえで当日の訓練に参加できるよう、確認を行い訓練を実施しています。
④①		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所内外の研修に参加できるよう取り組んでいます。また、「人権擁護ハンドブック」の読み合わせを朝礼で行ったり、チェックリストを活用しながら職員の意識向上を図っています。
④②		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、身体拘束が必要な子どもさんはいらっしゃいませんが、契約時に説明を行い、不安な様子が見られた際には別室で個別に対応することなど説明しています。また、マニュアルにて対応について全職員で確認を行っています。
④③		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、アレルギーのある子どもさんはいらっしゃいませんが、契約時に確認を行い申請書を提出していただくようにしています。必要に応じて、除去食等対応できるようにしています。
④④		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットに関しては当日に記入回覧を行い、次の日には朝礼で周知できるようにしています。また、職員会議の際に各月で上がった事例を全職員で確認し、対応策など検討しています。

評価実施日：平成28年 12月 15日